

通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況（1月分）について

1. 2009年9月-2010年3月の供給計画

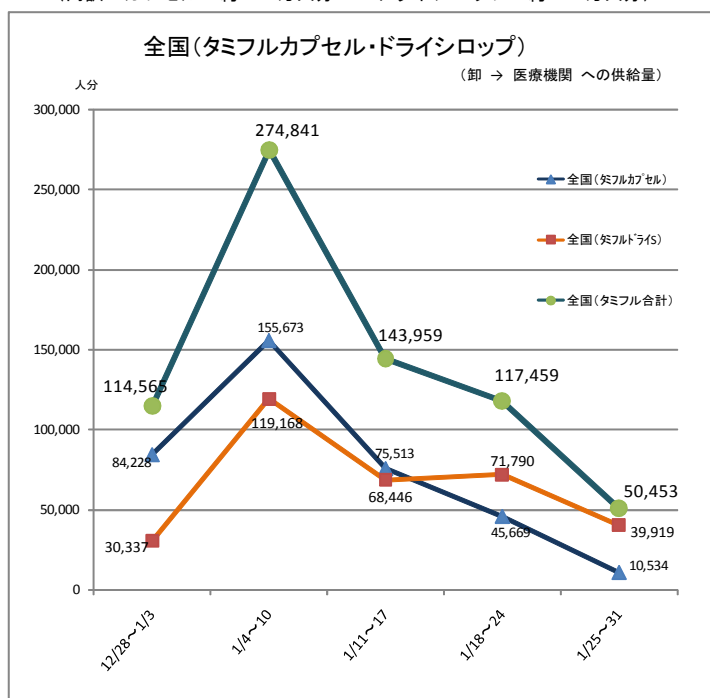
- ① タミフル 約1,200万人分（昨シーズン供給量の約2.8倍） <中外製薬より>
 ② リレンザ 約1,270万人分（昨シーズン供給量の約6.7倍） <グラクソ・スミスクラインより>
 * 各メーカーは、9月から供給を開始している。（2.イ参照）
 * 製造販売業者は、感染拡大の状況を踏まえ、追加供給の検討を進めている。
- ③ ラピアクタ 約70万人分（平成22年1月末から出荷開始）
 * 2月の供給予定 約49万人分 <塩野義製薬より>

2. 供給状況 ～ 2/3集計分 ～

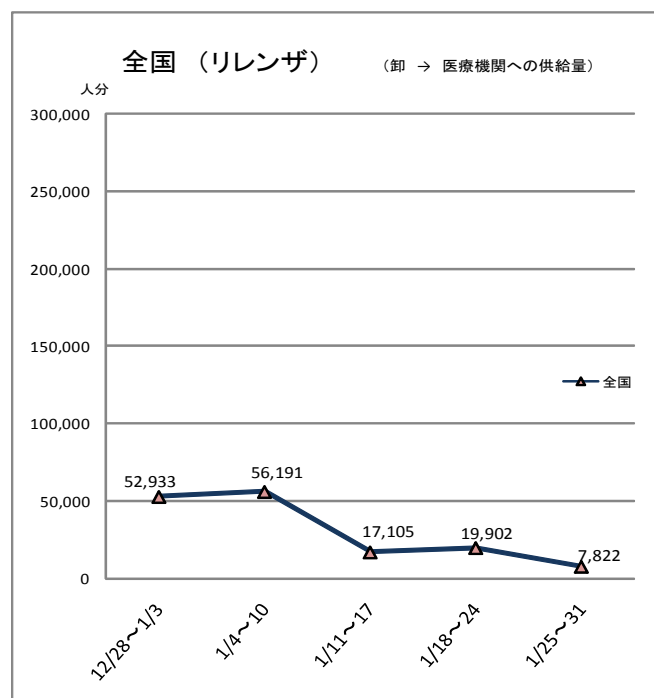
ア 卸売業者から医療機関への供給量（12月28日～1月31日）

① タミフル 約70万人分 <前月より約9.9万人分減>

（内訳：カプセル 約37万人分 ドライシロップ 約33万人分）



② リレンザ 約15万人分 <前月より約9.8万人分減>



イ メーカー・卸の在庫量（2月1日時点）

① タミフル 約695万人分

（カプセル 約627万人分）
 （ドライシロップ 約68万人分）

② リレンザ 約318万人分

* メーカー・卸在庫には、各メーカーの平成21年9月以降の出荷済数を含む。

(参考)

【行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）の備蓄量】

行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）については、平成22年1月末までに約5,200万人分を確保。

○ タミフル

国備蓄	約3,000万人分
県備蓄	約1,698万人分
計	約4,698万人分

○ リレンザ

国備蓄	約268万人分
県備蓄	約281万人分
計	約549万人分

※ 国備蓄については、1月末時点の数。（1月末にタミフル320万人分納入済み）

※ 県備蓄については、1月末時点の数。（都道府県別の内訳は別紙参照）

都道府県別の抗インフルエンザウイルス薬備蓄状況一覧 (H22.1 末時点)

No.	都道府県名	備蓄量 (千人分)		No.	都道府県名	備蓄量 (千人分)	
		タミフル	リレンザ			タミフル	リレンザ
1	北海道	655.9	19.2	25	滋賀県	179.7	14.7
2	青森県	177.0	14.5	26	京都府	308.0	18.5
3	岩手県	161.0	4.7	27	大阪府	1,025.0	50.5
4	宮城県	276.3	8.2	28	兵庫県	614.0	29.0
5	秋田県	132.7	3.8	29	奈良県	169.2	4.0
6	山形県	141.5	7.5	30	和歌山県	124.0	4.0
7	福島県	375.3	21.3	31	鳥取県	78.0	6.5
8	茨城県	347.1	10.2	32	島根県	99.7	3.8
9	栃木県	271.0	10.5	33	岡山県	262.7	10.2
10	群馬県	235.5	10.5	34	広島県	339.0	20.0
11	埼玉県	840.0	152.0	35	山口県	193.8	5.5
12	千葉県	712.0	21.3	36	徳島県	94.5	8.2
13	東京都	3,028.0	2,020.0	37	香川県	117.9	11.0
14	神奈川県	1,036.4	93.7	38	愛媛県	122.0	4.9
15	新潟県	283.6	8.3	39	高知県	97.9	2.8
16	富山県	129.3	11.4	40	福岡県	592.7	17.6
17	石川県	151.3	4.3	41	佐賀県	192.0	20.0
18	福井県	106.8	8.4	42	長崎県	226.0	15.0
19	山梨県	103.0	3.0	43	熊本県	228.2	6.6
20	長野県	256.0	22.5	44	大分県	151.0	12.4
21	岐阜県	247.3	21.8	45	宮崎県	149.0	6.0
22	静岡県	441.9	13.2	46	鹿児島県	206.0	6.0
23	愛知県	851.5	25.7	47	沖縄県	198.8	7.3
24	三重県	249.5	19.5		計	16,979	2,819
					合計	約 19,798	千人分

注1) 各都道府県における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄は、各都道府県と製造販売業者との契約に基づき、計画的に納入される予定である。

注2) 上記都道府県備蓄分の不足が見込まれる場合には、都道府県からの要請に基づき、国の備蓄分を放出することとしている。

(1月31日時点)

- * 1 各都道府県が備蓄しているタミフルカプセル（オセルタミビルリン酸塩）及びリレンザ（ザナミビル）、それぞれの備蓄量（人数分）を掲載している。
- * 2 抗インフルエンザウイルス薬の製造販売業者と各都道府県との契約に基づき、備蓄用として平成22年1月末までに納品した抗インフルエンザウイルス薬の数量を計上している。
- * 3 県内に患者が発生した場合に備え、各都道府県が保健所等に配置換えをした抗インフルエンザウイルス薬の数量を含んでおり、数量は千人分単位としている。